

| | | | | | |
|------|--------------|-----------|------------|--------|-----|
| 講義名 | 海外語学研修（アメリカ） | | | 授業形態 | |
| 担当教員 | 藤岡 千伊奈 | 開講期・曜日・時限 | 前期 水曜日 3時限 | | |
| | | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | 1年生 |

主題と概要

海外英語研修(アメリカ)では、8月の後半から約3週間、オレゴン州のポートランド州立大学（PSU）の国際プログラムが提供する授業で、英語を学びます。現地では、アメリカ人家庭でホームステイ(または、大学寮でのステイ)を行い、生活しながら生の英語と異文化を体験します。この英語研修は、参加する準備のための「事前研修」と「現地研修」の両方を含むものです。それら一連の活動に適切に参加し、さらに課題をこなして初めて海外英語研修の単位が与えられることを認識した上で参加が必要となります。

到達目標

- 上記の全ての活動を通して、次のことを学ぶことを目的とします。
1. 日常会話に必要な英語を聞き取ることができるようになる
 2. 日常会話に必要な英語を話すことができるようになる
 3. 英語話者と実際に会話をするができるようになる
 4. 異文化の人々の考え方や価値観を理解し、尊重することができるようになる
 5. 団体生活において自分を律することができるようになる

提出課題

1. 事前研修での課題
2. 現地での課題
3. その他の課題

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出物には評価・コメントして返却します。受講生間で共有・評価し、コメントを記入してもらうこともあります。

評価の基準

1. 事前研修への出席、および活動内容、参加度、提出物の評価：50%
2. 研修中の評価及び研修報告（現地教員の評価を含む）：50%

履修にあたっての注意・助言他

海外英語研修(アメリカ)は、日本を離れて異文化を体験することで、今まで体験したことのない様々なことが学べるすばらしい機会を与えてくれるものといえます。学内の授業では物足りないと考え、さらに英語力を磨きたい人の積極的な参加を期待します。ただし、現地での行動だけでなく、事前研修での課題をこなすことが必要です。また、行事への参加・貢献については、英語の中での活動となり、自分中心の行動は許されない場面も多くなります。とりわけ旅行中については、特に参加者の安全を確保することを優先して考え、集団行動において適切な行動をとることが求められます。事前研修、また、現地研修中に、それらの資質が欠如していると判断された者に関しては、以後の研修への同行を中止する場合もあります。その場合は、単位が認定されません。

* 研修費用が約70万円以上はかかることに注意すること（現地の物価高・円安レートにも注意）

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

授業内で適宜プリントを配付します。

授業計画

1. 事前研修
 - ・パスポートの取得を含めた出発準備
 - ・現地研修概要説明
 - ・ホームステイ(または、大学の寮生活)のための心得
 - ・プレゼンテーションのための資料作成・口頭発表(英語)
 - ・アメリカ滞在に必要な実践英語学習
2. 現地研修
 - ・PSUでの英語研修とホームステイ(または大学寮でのステイ)
 - ・現地での文化研修

* 内容は、状況に応じて変更される可能性があります。適宜調整しながら行います。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

| | |
|--|--|
| ア：PBL（課題解決型学習） | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| <input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート | <input type="radio"/> エ：グループワーク |
| <input type="radio"/> オ：プレゼンテーション | <input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク |
| キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） | |

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：
研修前は、ポートランド、PSU、アメリカ文化等、及び、自国文化等に関して情報収集
口頭発表用の資料作成・練習（2時間）

復習：
研修で学んだことを復習してスムーズに言えるように練習・暗記（2時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

海外語学研修（アメリカ）を通して、『夢や志を持ち、明るく元気にどこへ出ても物怖じすることがなく、誰とでもしっかり言葉を交わすことができ、逆境でもたくましく生き抜くことができる』ことを異文化で学び、特に経済学部生に求められる「人間、社会、自然に関するこれまでの学問的成果の基礎」、商学部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、人間社会学部生に求められる「コミュニケーション能力」の修得を目指す。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

- 【履修条件】
- ・コロナワクチン3回以上接種済みである。
 - ・麻痺予防接種2回の証明を提出すること。
 - ・提出書類を前日までに提出すること。
 - ・期限を過ぎての提出や未提出書類がある場合は、研修をキャンセルしてもらう場合がある。
 - ・学内の健康診断を受けた学生。（3月実施予定）
 - ・受診していない場合、各自、病院内で健康診断を受けてください。
- 予約の際に、以下の受診項目を伝えてください。